

☆中国

**繊維政策**

**綿花価格の乱高下で化繊消費拡大**

このほど、中国紡織工業連合会の高勇副会長は綿花価格と化繊消費の関係について以下の通り語った。

中国人の伝統的な考え方では、アパレル用の素材としては、綿花は最も優れた素材とみなされてきたが、近年、綿花価格が乱高下したことで、市場の綿花需要は少しずつ化繊に代替しており、消費者の考え方も次第に変わりつつある。

化学繊維はもともと綿花代替素材であり、値段もかつては綿花価格より高いことがあったが、化繊生産が増加し、化繊価格は下がり、現在、中国の化繊生産は世界一となった。中国の化繊産業は、国際競争が激化するに伴い、モデルチェンジ・アップグレードを進めており、技術開発、製品開発の強化、産業チェーン全体の連携強化によって、発展を遂げてきた。

一方、中国国内では、国産綿花と輸入綿花の価格差から、綿花需要が減少、化繊需要が高まっている。現在では全繊維消費の75%以上を化繊が占めている。化繊消費量の増加に加え、化繊輸出も増加、現在では、中国の化繊輸出は世界全体の45%を占める。世界の差別化化繊のうち95%は中国で生産されるまでになった。中国の化繊業界はさらに影響力を強めるため、ここ数年、多くの化繊企業が新製品を発表しているほか、グリーンの概念を打ち出し、差別化を進めている。

☆ベトナム

**繊維輸出**

**繊維品輸出 30%増——2014年1～2月**

ベトナム統計局によると、2014年1～2月のベトナムの繊維品輸出は前年同期比30.1%増の32.1億ドルとなった。

一方、同期間の主要繊維品の輸入は、綿花は39.0%増の2.3億ドル、糸類は14.6%増の2.4億ドル、織物類は26.7%増の12.8億ドルといずれも2桁の増加となった。

ベトナムの繊維品貿易

(100万ドル、%)

	2014年1-2月	前年比
繊維品輸出	3,205	30.1
繊維品輸入		

綿花	232	39.0
糸類	237	14.6
織物類	1,281	26.7

2014年1～2月の主要繊維品生産をみると、織物類は、綿製が前年同期比13.6%増、化合繊維製が1.5%増となった。衣類生産は前年同期18.5%増となった。

また、生産指数でみると、紡織産業は前年同期比21.1%増、衣類産業は15.3%増となっている。

ベトナムの繊維産業生産指数（前年同期＝100）

	2014年2月	2014年1-2月
紡織品	128.3	121.1
衣類	126.0	115.3

ベトナムの主要繊維品生産

(%)

品目	単位	2014年1-2月	前年比
綿織物類	100万㎡	43.4	13.6
化合繊維物類	100万㎡	107.8	1.5
衣類	100万点	462.5	18.5

## ☆米 国

### 繊維業況

### 紡織産業が復調へ

かつて、米国の紡織産業は終わったと多くの人々が考えた時期があったが、2012年以降、米国紡織産業は復調を示しており、2012年の紡織産業は540億ドルの出荷を記録するなど依然として規模の大きな産業である。

米国の紡織産業は、伝統的な生産地である南部諸州での回復が鮮明である。南部では繊維企業への優遇制度、近代的な港湾や空港も整備され、熟練した労働力も豊富であるといった特徴があり、2013年だけでも、多くの海外企業（ブラジル、カナダ、中国、ドバイ、英国、インド、イスラエル、日本、韓国、メキシコ、スイス）が、ジョージア州、ルイジアナ州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、テ

ネシー州、バージニア州での紡織工場への投資計画を発表した。こうした新規投資には衛材用繊維、家庭用品などへの投資が含まれる。

ノースカロライナ州立大学・繊維学部の Godfrey 学部長によると、米国の紡織産業は、海外からの安価な輸入品増加によって 1990 年代以降急激に落込んだ。さらに工場の自動化と生産性向上を進めたことで過去 10 数年に 20 万人以上の雇用が失われた。

紡織産業はかつて南部州の主要経済であり、ノースカロライナ州では、1940 年、州の労働者の 40% が紡織、衣類産業に従事していたが、この比率は 2013 年には 1.1% まで減少した。

しかし、近年、中国の人件費高騰や物流コスト上昇などによって、内外の繊維企業が米国生産を再検討するようになった。さらに、消費者の「メイド・イン・USA」志向も高まっており、一部の小売企業は米国製の調達に関心を向けている。例えば、Wal-Mart は、今後 10 年間で米国製のインテリア製品を 500 億ドル購入することを明らかにしている。また、コスト面で見ても、米国での綿糸の販売価格は中国よりも安価であるという。

米国で新しく建設された紡織工場は、過去の埃にまみれた騒音のひどい工場とは異なり、高度に自動化され、従業員は少ない。その一方で、技術に熟練した労働者を求めており、賃金も従来に比べて高い水準となっている。2012 年の米国の紡織産業の平均賃金は 37,900 ドル。ノースカロライナ州では、紡織産業の平均賃金が 2002 年の 28,216 ドルから 33,219 ドルに上昇している。